

令和7年度 今治市 市民が共におこすまちづくり事業
(地域課題解決型協働推進事業)

今治中心市街地の記憶を次世代に伝える 「オールドイマバリ・クエスト」 事業報告

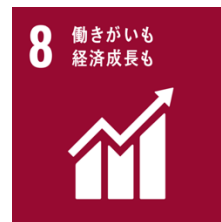
一般社団法人コード・フォー・イマバリ
2026年2月10日

1. 事業の目的と目指す効果

目的 今治の歴史文化を共有財化し、若い世代や来訪者に魅力を伝えるデジタルスタンプラリーを展開することで、楽しみながら未来に繋がる地域社会を形成します。

- 効果**
1. 地域住民の地域愛着度の向上（知らなかった歴史文化を知れば知るほど愛着が湧く）
 2. 関係人口の地域貢献意欲の向上（今治の外にいても今治の歴史文化を語り継ぎたいと思う）
 3. 観光客、地域住民による地域消費の拡大（素通りなんてもったいないとみんなが思ってくれる）
 4. （将来的に）地域事業者への就業、定着の意向向上（この土地で働きたい、暮らしたいと思う）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2. 実施内容（具体的な活動内容）

今治の歴史文化を紹介するトークセッションと、スポットを巡ってデジタルスタンプを収集するクエストを12/13と2/7に開催しました。

オールドイマバリ 二の堀&暗渠クエスト (12/13)



https://www.code4imabari.org/thegame_005/

- ・今は暗渠となった今治城二の堀の形跡と今治の暗渠名所がテーマ
- ・14個のNFTをコンプリートしたら、リワード（ご褒美）として“ト部の天ぷらセット”がもらえる
- ・有識者“暗渠マニアックス”を招いてのトークショーとデジタルスタンプ集めのまちあるきを実施

オールドイマバリ 港町クエスト (2/7)



https://www.code4imabari.org/thegame_006/

- ・旧今治城下の今治六町から天保山埠頭までの散策がテーマ
- ・12個のNFTをコンプリートしたら、リワード（ご褒美）として“フランス屋のドーナツ”がもらえる
- ・各スポットの歴史文化を学ぶトークショーとデジタルスタンプ集めのまちあるきを実施

3. 成果・実績（参加者数）

取組	種別	参加人数
オールドイマバリ 二の堀&暗渠クエスト	のべ参加者	27
	デジタルスタンプ収集まちあるき参加者	17
オールドイマバリ港町クエスト	のべ参加者	30
	デジタルスタンプ収集まちあるき参加者	18

3. 成果・実績（目的に対する効果）

項番	目的	事業を実施しての効果
1	地域住民の地域愛着度の向上 (知らなかった歴史文化を知れば知るほど愛着が湧く)	<ul style="list-style-type: none"> 参加者ほぼ全員から「知らなかった今治の魅力を知ることができてよかった」との声をいただいた。 参加者が固定せず、毎回新たな人が参加してくれている。
2	関係人口の地域貢献意欲の向上 (今治の外にいても今治の歴史文化を語り継ぎたいと思う)	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は市外からの参加者は少なめだったが、都合がつけば参加したかったとの声を多数いただいた。 東京から招いた講師が全国に今治の情報を発信をしてくれた。
3	観光客、地域住民による地域消費の拡大 (素通りなんてもったいないとみんなが思ってくれる)	<ul style="list-style-type: none"> コンプリート達成者がリワード受取りで協力店を訪問した際、追加購買行動が見られた。 まちあるきルートの中の店舗でお菓子購入などの消費活動が見られた。
4	(将来的に) 地域事業者への就業、定着の意向向上 (この土地で働きたい、暮らしたいと思う)	<ul style="list-style-type: none"> 今回は参加が叶わなかったが、港町クエストは高校生団体「たねからゼミ」のメンバーに興味を持っていただけた。 衆院選のため、地域おこし協力隊メンバーの参加が叶わなかったが、参加したかったとの声をいただいた。

3. 成果・実績（問題点と解決策）

項番	事業を実施しての問題点	問題点に対する解決策
1	若年層の参加者が少なかった。	学生団体との連携を図り、勧誘のアイデアをいただく。
2	活動を継続するための財源確保	地域事業者を巻き込みも念頭に、収益を上げる事業モデルを考案する。

4. 次年度以降の構想

オールドイマバリ・クエストの継続

過去4回のコンテンツを軸に、オールドイマバリクエストの定期開催を予定